

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
生物基礎	2	文理進学・文理選抜	A B C	黒田聖子
目 標	1. 高校生物の基本的な内容（細胞と遺伝、生物の体内環境、生態系）について、知識・理解・技能の定着と体系的な理解を目指す。 2. 興味・関心・意欲を持って自ら進んで学習活動に取り組み、科学的なものの見方や考え方を身につける。 3. 観察や実験を通して、技能の習得を目指すだけでなく、科学的な考え方、考えを表現する力を身につける。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的思考力	実験観察技能	科学的知識
	学習や実験・観察に臨む態度。 生物学への関心。 授業への積極性。	生物現象に対して、仮説を立て、論理的に考える力。 自ら資料を探し、疑問を解決できる力。	実験や観察における基礎的な機器の操作や観察技能の習得。 結果をまとめる力。	体系的な理解。 定期テストや実験レポートへの取り組み。

学期	考查	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	<1編 生物の特徴> 1. 生物の多様性と共通性 2. 生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の使い方とマイクロメーターの理論を理解する。 生物の特徴と細胞の構造について理解する。 細胞の代謝と光合成、呼吸について理解する。
	期末	<2編 遺伝子とそのはたらき> 1. 生物と遺伝子 2. 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> DNAの構造を理解する。 細胞分裂の周期とDNAの複製を理解する。
二学期	中間	3. 遺伝情報とタンパク質の合成 <3編 生物の体内環境の維持> 1. 体液環境	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質の合成の仕組みを理解する。 遺伝子が発現し、その働きを調節する仕組みを理解する。 体液と物質の循環が深く関係していることを理解する。 心臓・肝臓・腎臓の働きを理解する。
	期末	2. 体内環境を維持するしくみ 3. 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 自律神経系の構造とホルモンによる体内の維持管理について理解する。 獲得免疫に関係する身近な疾患について理解する。
三学期	期末	<4編 生物の多様性と生態系> 1. 植生の多様性と遷移 2. バイオームとその分布 3. 生態系とその保存	<ul style="list-style-type: none"> バイオームの概念を理解する。 森林の構造と光環境との関係、遷移の過程を理解する。 生態系内の物質循環とエネルギー循環の特徴を理解する。 人間活動の生態系への影響を理解する。 自然環境の保全について考察する。
評価の方法		授業態度、定期テスト、課題、実験観察技能、出席状況など。	
学習活動の特徴		図を多く活用し、視覚的な理解をもとに、体系的な学びを進める。できるだけ実験や観察を行い、実物の提示をし、理解を深めるようにする。	
授業の形態		講義、実習(化学教室)	
使用教科書		『改訂生物基礎』（東京書籍）	
使用副教材		図説：『ニューステージ新生物図表』（浜島書店） 問題集：「コンセプトノート生物基礎」（浜島書店）	
用意するもの		教科書、ノート、プリント、副教材(問題集、図説)	
備考			

科目・分野	週時間数	コース	クラス	担当者
生物基礎	2	生命科学	D	黒田 聖子
目 標	1. 高校生物の基本的な内容（細胞と遺伝、生物の体内環境、生態系）について、知識・理解・技能の定着と体系的な理解を目指す。 2. 興味・関心・意欲を持って自ら進んで学習活動に取り組み、科学的なものの見方や考え方を身につける。 3. 観察や実験を通して、技能の習得を目指すだけでなく、科学的な考え方、考えを表現する力を身につける。			
大切に育てたいもの	関心・意欲・態度	科学的思考力	実験観察技能	科学的知識
	積極的に質問するなどの意欲的な姿勢、探求心、謙虚な態度、根気	課題を見つける力、課題を解決のための情報収集力	冷静な対応、正確な操作技能、整理能力	生物学分野の研究の基礎となる知識の習得

学期	考査	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
一学期	中間	<1編 生物の特徴> 1. 生物の多様性と共通性 2. 生命活動とエネルギー	<ul style="list-style-type: none"> 顕微鏡の使い方とマイクロメーターの理論を理解する。 生物の特徴と細胞の構造について理解する。 細胞の代謝と光合成、呼吸について理解する。
	期末	<2編 遺伝子とそのはたらき> 1. 生物と遺伝子 2. 遺伝情報の分配	<ul style="list-style-type: none"> DNAの構造を理解する。 細胞分裂の周期とDNAの複製を理解する。
二学期	中間	3. 遺伝情報とタンパク質の合成 <3編 生物の体内環境の維持> 1. 体液環境	<ul style="list-style-type: none"> タンパク質の合成の仕組みを理解する。 遺伝子が発現し、その働きを調節する仕組みを理解する。 体液と物質の循環が深く関係していることを理解する。 心臓・肝臓・腎臓の働きを理解する。
	期末	2. 体内環境を維持するしくみ 3. 免疫	<ul style="list-style-type: none"> 自律神経系の構造とホルモンによる体内の維持管理について理解する。 獲得免疫に関係する身近な疾患について理解する。
三学期	期末	<4編 生物の多様性と生態系> 1. 植生の多様性と遷移 2. バイオームとその分布 3. 生態系とその保存	<ul style="list-style-type: none"> バイオームの概念を理解する。 森林の構造と光環境との関係、遷移の過程を理解する。 生態系の構造を理解する。 生態系内の物質循環とエネルギー循環の特徴を理解する。 人間活動の生態系への影響を理解する。 自然環境の保全について考察する。
評価の方法		定期テスト・課題テスト・提出物	
学習活動の特徴		図を多く活用し、視覚的な理解をもとに、体系的な学びを進める。	
授業の形態		『シンクアンドクエスト学ぶキミを引き出す生物基礎』を用いて生徒が主体的に学ぶアクティブ・ラーニング型授業を行う。	
使用教科書		『改訂生物基礎』（東京書籍）	
使用副教材		図説：『ニューステージ新生物図表』（浜島書店） ノート：『シンクアンドクエスト学ぶキミを引き出す生物基礎』（ベネッセ） 問題集：『コンセプトノート生物基礎』（浜島書店）	
用意するもの		教科書、副教材（ノート、問題集）	
備 考		○日本生物学オリンピック「生物チャレンジ2017」を全員受験、○広島大学・臨海実習（2泊3日）、○甲南大学・生命科学実験実習3回実施。	